

## 令和4年度 県アレルギー疾患医療拠点病院事業計画

病院名	横浜市立みなと赤十字病院
-----	--------------

## 1. 病院相互の連携及び診療連携体制の構築について

令和4年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業実施状況、実績見込等
<p>病診連携医療機関と連携シートを用いた気管支喘息の病診連携を実施。発作を繰り返す喘息患者を紹介いただき、完全コントロールを達成した後は逆紹介とし、半年～1年に1回、当院アレルギー科の予約を受診していただく。受診時、呼吸機能検査等を実施することによりコントロールの維持の確認をしていく。</p> <p>連携先の医療機関は、横浜市内のほか県内全域での連携を進めていく</p>	<p>コロナのため、呼吸機能検査は中止</p>

## 2. 患者やその家族、地域住民に対する適切な情報の提供

令和4年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業実施状況、実績見込等
<p>患者やその家族、地域住民に対する情報の提供は病院ホームページで行っている。</p> <p>アレルギーセンターホームページにおいて、当センターにおける診療内容、診療実績、各種講演会の情報提供を行っており、各診療科のアレルギー疾患を1つのページで網羅することで患者様に見やすいホームページを心がけている。更なる情報面の充実等の改修を行い、情報提供の充実を図る。</p>	<p>令和3年度予定としていたが令和4年度へ繰り越す</p> <p>中村センター長 花粉症とアレルギーについて (TVかながわ)</p>

## 3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等

令和4年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業実施状況、実績見込等
<p>①医療従事者向けの研修会としては、みなとセミナー、横浜みなと免疫・アレルギー講演会、横浜市アレルギー懇話会、横浜環境アレルギー研究会、横浜吸入指導勉強会を例年実施している。今年度はコロナの状況をみながら検討。</p> <p>②教職員・児童福祉施設職員を対象としては、横浜市内を中心として各機関からの依頼に基づき研修会を実施している。令和3年度はコロナにてWEB研修と対面研修を実施した。引き続き考慮しながらWEBでの開催を継続していく。</p>	<p>①横浜市アレルギー懇話会 1回開催</p> <p>②研修施設での研修とWEBでの配信と2通りの形式で行った</p>

#### 4. 県内のアレルギー疾患の実情を把握するための調査等

令和4年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業 実施状況、実績見込等
診療データ等によるデータベースを駆使して、県における各種アレルギー疾患の診療状況を細やかに把握し、疫学調査に取り組む	実施できず

#### 5. 学校等に対する医学的見地からの助言等

令和4年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業 実施状況、実績見込等
「3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等」参照 出張研修会については、コロナの状況でWENでの実施に切り替えられるようにする等、要望に対して柔軟な対応ができるようにしていく。	WEBでの研修を取り入れた

#### 6. その他の事業（任意記載）

令和4年度 事業内容等	(参考) 令和3年度事業 実施状況、実績見込等
携帯電話、スマートフォンなどのIT通信機器を用いた気管支喘息の長期管理として、患者が自宅や職場で測定した呼吸機能をIT通信機器により当院にデータ送信し、悪化時に医師から患者に個別にアドバイスを送る喘息遠隔医療のシステム（Asthma Real-time Monitoring System:ARMS）を導入中。また、過去の気象と喘息症状の関連から導き出した予測式を基に「喘息予報」の提供を今年度も行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ARMS 登録患者数： 77 名</li> <li>・ コメントでのアドバイス 件数： 5 件</li> </ul>

#### 7. 県拠点病院としての取組について（年度ごとの取組にかかわらず記載してください。）

<p>来院による相談として、小児喘息相談、成人喘息相談（計年間3回ずつ）を実施しています。</p> <p>また、小児アレルギーエデュケーターを取得した看護師・保健師・薬剤師・管理栄養士が在籍し、随時相談に応じています。</p>
---